

# 冬は火災にご注意ください!



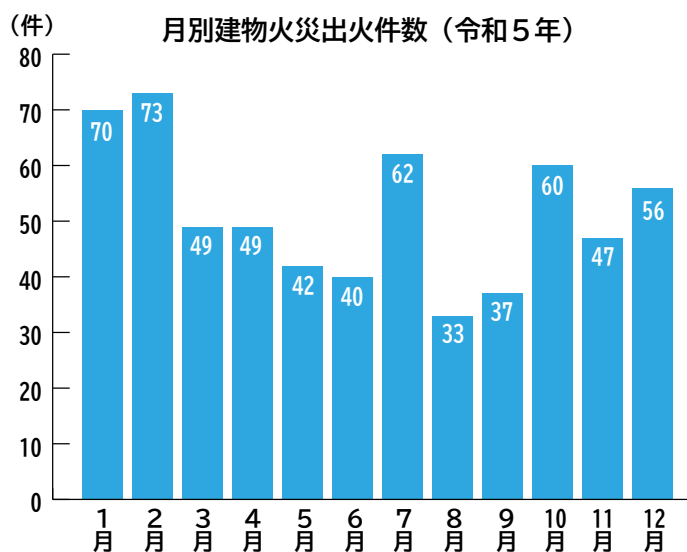
大切な命や財産を守るために、火災予防を徹底しましょう。

冬は空気の乾燥や強風の日が増え、さらに暖房機器の長時間使用で、住宅での火災のリスクが高まります。火災は発生してからでは手遅れになる可能性もあるため、日頃から火災予防を徹底し、大切な命や財産を守りましょう。

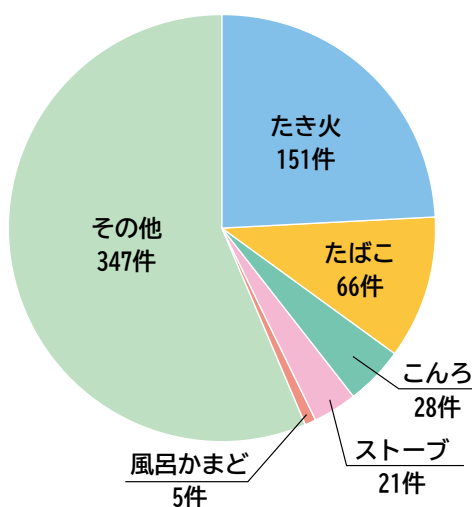
◆問い合わせ＝☎防災危機管理課(内線2240)

## 冬に火災の発生が増加しています

茨城県内では、12月から2月にかけて建物火災の出火件数が増加しています。また、主な発火源別の出火件数は、たき火やたばこ、こんろ、ストーブが占めています。



主な出火源別出火件数（令和5年）



※茨城県「消防防災データ集 令和6年」をもとに作成

## 住宅火災を防ぐ4つの習慣を心掛けましょう

### たばこ



寝たばこは絶対にしない、させない。

### ストーブ



ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。

### こんろ



こんろを使う時は、火のそばを離れない。

### コンセント



コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



火災で亡くなる原因で最も多い「逃げ遅れ」を防ぎ、火災から命を守るために、火災の発生を感知し知らせる「住宅用火災警報器」の設置が全ての住宅に義務付けられています。

火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、設置から10年を目安に交換しましょう。

